

まだ暗いうちに 詩篇 119:147-148

2026.2.1、丘の上、No.765  
春日部福音自由教会 山田豊

今年の歌会始の勅題は、「明」でした。入選した一つの歌は、新潟県の高校2年生の作品です。

**明礬（みやうばん）の 再結晶の 実験は  
君への恋を 形にしてる**

たしか自分も中学か高校でこのような実験をしたと思うのですが、なかなかうまく行かなったように思います。ミョウバンのミョウが「明」という漢字になっています。8面体の結晶を見て、恋の歌にしてしまう感性に、脱帽です。

もう一首は、長野県の女性の歌です。

**祈りとは 夜明けをひとり 待つことに  
どこか似てみて あなたを思ふ**

さて、この歌から浮かんだのが、本日の説教箇所である詩 119:147-148です。

私は夜明け前に起きて叫び求めます。私はあなたのことばを待ち望んでいます。148 私の目は夜明けの見張りよりも先に目覚め、みことばに思いを潜めます。

人は他の動物とは違い、祈る生き物です。祈りのゲノム(遺伝子)があるわけではないのですが、古今東西、色々な仕方で人は祈ってきました。キリスト者は、イエス・キリストの御名によって父なる神に祈り、聖霊のとりなしによって神の前に祈りは香のように立ち上っているのです。皆さんが祈るときは、どのような時でしょうか。時間としては、暗い時の方が心をしめて祈りに集中できるように思います。それだけでなく、つらく悲しい時、すなわち心が暗くなっているときほど、祈りが出てくるように思うのです。時にその祈りは、うめきであったりもします。

昔のユダヤ人は、時計も鐘も使わず、夕空に星が三つ見えることによって一日が終わり、次の日が始まるのを知りました。そして夜明けがやってくる、その時を告げる人はまだ暗いうちから起きて、夜警の任務を果たしました。詩人は、彼らよりも早く起き、朝日が昇る前にもう祈っているのです。安息日が明け、週の初めの日のまだ暗いうちに、イエスに従っていた女性たちは、墓に急ぎました。暗闇の中でこそ主イエスを求める信仰の姿を、そこに見るのでした。彼女たちが、一番最初に主の復活を知ったのでした。まだ暗いうちに主を求める、み言葉をしたい求める、そこに希望が生まれてくるのです。

## 引用聖句

ヨハネ 20:1 さて、週の初めの日、朝早くまだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓にやつて来て、墓から石が取りのけられているのを見た。

マタイ 28:1 さて、安息日が終わって週の初めの日の明け方、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に行つた。

マルコ 16:1-2 さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。2 そして、週の初めの日の早朝、日が昇ったころ、墓に行つた。

ルカ 24:1 週の初めの日の明け方早く、彼女たちは準備しておいた香料を持って墓に来た。

## 詩篇 119:147-148 新共同訳

147 夜明けに先立ち、助けを求めて叫び／御言葉を待ち望みます。

148 わたしの目は夜警に先立ち／あなたの仰せに心を碎きます。

## 夜明けの見張り 夜警

古代の城壁や町を守るために夜通し配置されていた見張り番(警備兵)のこと。古代イスラエルでは、夜はとても危険な時間帯であった。そのため、夜は複数の「見張りの時間帯(夜警)」に分けられ、交代で警備が行われていた。

夕方の見張り、真夜中の見張り、夜明け前の見張り(最も眠く、つらい時間帯)この夜明け前の見張りは、一晩中起きていなければならない、最も疲労がたまる、しかし油断できない、という、非常に厳しい役目であった。

夜通しの見張りはイザヤ書のバビロンの陥落を告げる箇所などにも用例がある。イザヤ 21:8 すると獅子が叫んだ。「主よ。私は昼間はずつと物見の塔の上に立ち、夜はいつも私の見張り所についています。」

靈的な意味・象徴として、暗闇の中で目を覚ましている信仰、世が静まり返る中で神を待ち望む姿勢、希望の夜明け(神の救い)を待つ心。単なる「早起き」の話ではなく、神との関係を何よりも大切にする生き方を表している。

## 安息日の始まりと終わりの時間を知る

安息日(土曜日)は、金曜日の日没から始まり、土曜日の夜、星が三つ見えるころに終わる。安息日の始まりには、ローソクに灯をともし、祝福の祈りをささげることで、家庭内に安息日が始まる。終わりの時には、ハブダラー(区別の儀式)を行い、日常生活に戻る。ぶどう酒、香辛料、ろうそくを前にして祈りがささげられる。良い香りを漂わせることで、過ぎ去った安息日を思い出し、次の安息日が近づいていることに希望を見出す、という意味があるという。現代では、スマホやカレンダーアプリで、正確な時間をチェックするようになっている。